

Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

食わず嫌いは損??

「隠し剣 鬼の爪」 巨匠が得た時代劇の奥義!

俗に「食わず嫌いは損をする」と言うが、巨匠・山田洋次監督は時代劇に関しては、まさしく食わず嫌いだ。ギネス記録も打ち立てた「寅さん」シリーズに代表される、人情味ある人間ドラマを得意とした山田監督は、「たそがれ清兵衛」で時代劇を初演出する際も、「時代劇はこれが最初で最後」と前置きした後、時代劇に対して抱いていた疑問点を延々と挙げて批判。そうして挑んだ「たそがれ」は、こ存じの通り大絶賛。あれ程までに時代劇嫌いを吹

聴いていた山田監督は「せっかくなに手に入れたノウハウを活かさないのはもったいない」と態度を一変、かくして山田監督の時代劇第2作「隠し剣 鬼の爪」が10月に松竹系で公開の運びとなった。「たそがれ」の成功は時代劇嫌いの山田監督が、嫌いな目には目につく時代劇の弱点を補いながら、正攻法で演出した事にある。いっぞやの「赤影」を演出した某監督も時代劇嫌いだ。アプローチの仕方は山田監督とは正反対で、時代考証や所作事が面倒と、完全

に時代劇を否定。その結果、時代劇の面白さが皆無の映画となった。しかし山田監督はさすがというか、嫌いなながらも「面白い時代劇を作る」という姿勢で挑み、結果として名作を生み、ノウハウまで掌中に収めた。不味いと思っただけで、料理の本当の味は分からない。嫌いな料理を食べて、そのレシピまで会得する。これって人生にも通じる大切な姿勢なんじゃないだろうか。

人のさだめは変えられますか。

隠し剣 鬼の爪

a film by Yoji Yamada

「隠し剣 鬼の爪」監督・山田洋次、原作・藤沢周平、出演・永瀬正敏、松たか子、吉岡秀隆、高島礼子、田中邦衛、小林稔寿、緒形拳。10月より松竹系にて全国ロードショー



「必殺仕業人」主演・藤田まこと。キングレコードよりDVD・BOX発売中

人を殺しても生きる 「必殺仕業人」

生活が成り立つには収入がなくてはならない。職業選択の自由を得るには仕事がないと行かない。職業選択の自由と云うのが、その選択肢が「殺人」しかないとしたら悲惨だ。「必殺仕業人」は後の「仕業人」に続く必殺シリーズ第7作。主人公は金をもらって恨みを晴らす闇の仕事師だが、彼らは表向き普通の職業を隠れ裏に営んでいる。だが「仕業人」に登場する赤井助(中村敦夫)は元は侍で女と脱走し、今はお坊主として通われる身。つまり指名手配の身の上で正義に就く事は許されず、止む無く仕業人として悪を断る以外に生きる道がない。もちろん殺人は許される行為ではないが「何をしても生きる」という気概は、現代人が忘れがちな何かを教えてくれる。



妖怪日記

古から伝えられる妖怪たちの、平凡かつ赤塚マな日々。

傘やけど...



明日の天気 雨らしいで



なんですと!



傘、忘れんよう 無いつくと!



傘が傘って...!!

からかさ

1本足でひとつ目の日本有数のメジャーな妖怪。自由奔放で無節操な性格。

哀愁坊主

内気でお人好し、ひたすら忍耐強く打たれ強い性格。寂しい時はボエムを嗜む。

今月の言葉

責任編集人 山田誠二

1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家、映画関連著作多数執筆。 2004年9月1日 山田誠二



新くノ一忍法伝 灼熱の乱舞

オを購入してもう一つ、店主が理解し購入しようとする作品を作らざるを得なくなる。そうなる前に「マニマニ」が連想される程に、俳優やジャンルが揃っている。それもVシネがレンタル用に使われる商標で、それがレンタル用に使われたビデオ。Vシネマ一般の呼称となった。Vシネはテレビのようにスポンサーを気にせず、マニマニなファンを意図した様々なジャンルの映像を送り出せる新しい市場として大いに期待された。しかし、

現実には竹内力、袁川翔、ヤクザ、アタル、くノ一である。何故そうなるのか? その元因は、レンタル店の店主である。つまり、レンタル店の店主は、店主のほとんどは映画マニアでもなく、当然ジャンルや俳優に造詣は深くない。Vシネメーカーは店主にビデオ

京都の文化監督・竹宮美子最新作「新くノ一忍法伝 灼熱の乱舞」好評劇の中にあって毎回クオリティの高い仕事っぷりですがプロ

Vシネマの未来は暗い??
Vシネでジャンルや
役者が偏る謎